

1. 件 名：実用発電用原子炉のEALについて

2. 日 時：令和2年3月18日 16:00～16:30

3. 場 所：原子力規制庁3階 会議室

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

児玉企画調整官、宮地防災専門官、岡村係長

原子力エネルギー協議会 副長

5. 要 旨

原子力エネルギー協議会から、令和元年度第61回原子力規制委員会（令和2年2月5日）及び第4回緊急時活動レベルの見直し等への対応に係る会合（令和元年9月11日）を踏まえた実用発電用原子炉のEAL（緊急時活動レベル）の見直しについて、前回の面談（令和2年3月5日）の指摘を踏まえ、再度、資料に基づき説明があった。

- ・ 沸騰水型軽水炉（BWR）と加圧水型軽水炉（PWR）の警戒事態（AL）の水位の考え方について、TAF+6mで整理
- ・ ただし、PWRは構造上この付近に出口配管が存在するためこの下端で判断

原子力エネルギー協議会から、この考え方に基づき、今後各社の原子力防災業務計画の修正の検討に反映するとのことだった。

6. その他

配布資料：

資料1 使用済燃料プールの水位EAL設定＜標準的な考え方＞（原子力エネルギー協議会）